

ファティリティッククリニック東京

患者さんとスタッフとの橋渡し役

外国人の患者さんが増えるにつれて、各部署と患者さんとのコミュニケーション面での問題が多くなり、困っていました。そのような時にご紹介を受けました。

最初は主に通訳としての役割を期待していましたが、コンシェルジュの方々の「PATIENT FIRST」の言動に触発され、スタッフの接遇意識も上がってきているのを感じています。

今後、患者さんとの接点が少ない部署にも接遇面でのノウハウを教えていただきたいです。

ブライトンのコンシェルジュは、患者さんとスタッフとの橋渡し役として、非常にいい動きをしてくださるので、スタッフは本来の自分の仕事に専念できる場所がお勧めです。



受付コンシェルジュ
サービス導入
(外国人対応／業務委託)

ファティリティッククリニック東京
院長

小田原 靖様